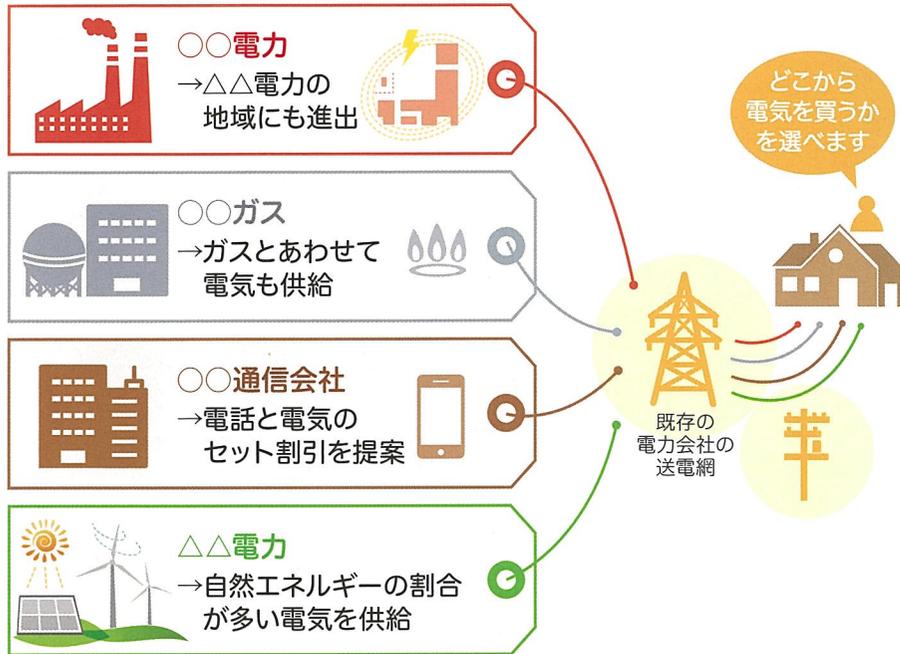


「電力自由化」でなにが変わるの？

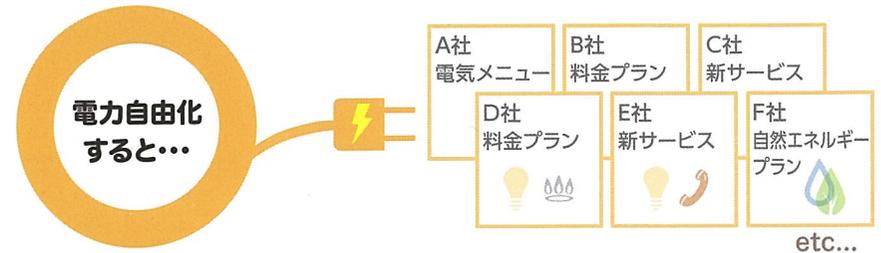
2016年4月から、「電力自由化」が始まります。「電力自由化」はすでに工場や中規模以上のビルなどでは始まっているのですが、これが一般家庭にも広がるのです。

「電力自由化」になると、今までおなじみの電力会社以外から電気を買うこともできるようになります。自分のライフスタイルにあった電気料金プランを選んだり、自然エネルギーを多くとり入れている電力会社を選んだり…、私たち消費者にとっては、選択肢が広がることが期待できます。

たとえば・・・



電気はこれまで公共性が高いため、料金などに規制がかけられる一方、電力会社は地域ごとに競争がない守られた環境で事業を行ってきました。



今までの電力会社以外でも電気小売事業ができるようになります
⇒ これまでとは違う電力会社から電気を買うことができます

電気料金が自由に設定できるようになります*
⇒ 新しい電気メニューやサービスが登場します

※既存の電力会社には2020年くらいまでは料金の規制が残ることになっています。

消費者が電気を選べるようにすることで、事業者どうしが競争しサービスがよくなっていくことが期待されます。

電力自由化 Q&A

Q₁ 電力会社を切り替える時には、電線やメーターを取り換える必要があるの？

A₁ 利用者側で機器の変更をする必要はありません。メーターの取り換えが必要な場合がありますが、その場合の費用は電力会社の負担です。

Q₂ 新しい電力会社だと、停電したり電気が暗くなったりするようなことはないの？

A₂ 電線は今までのものを使いますし、万が一電気が不足した場合は、他の電力会社からの電気が流れますので、停電するようなことはありません。

電気を「選ぶ」ことが消費者の役割

電力自由化では、私たち「消費者」の役割がとても大切になります。消費者がどんな電気やサービスを希望するのか、が電力会社へのメッセージになるからです。私たちが電気に望むもの、電力会社に期待することはなんでしょうか？

電気料金

料金や契約の
透明性

お問い合わせ
対応

経営の安定性 …

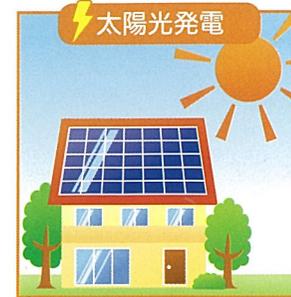
その中に、ぜひ「どんな発電方法の電気を扱っているか？」という項目を入れてください。

電気は使う場面ではとても「クリーン」なエネルギーに見えます。でも、みなさんもすでに知っているように、電気を「つくる」場面（発電所）では、いろいろな「ごみ」が出されています。

中でも環境への影響が大きく、対処が難しいのが ……

- **CO₂（二酸化炭素）**：地球規模で問題になっている「地球温暖化」の原因物質です。火力発電はCO₂の発生量が多いという特徴があります。火力発電の中でも、特に「石炭」はCO₂の発生量が多いので、世界全体で減らしていく流れになっています。
- **放射性廃棄物**：原子力発電所では放射性物質が廃棄物として出されます。放射性物質は環境や人間に影響がなくなるまでに何千年もかかります。この処理をどのように行うのが大きな問題です。

発電するときにCO₂も放射性廃棄物も出さない発電方法が「自然エネルギー」です。



…などがあります。

日本では、自然エネルギーの割合はまだ12%程度しかありません※。ヨーロッパやアメリカなどでは、すでに30%から40%が自然エネルギー、将来的には50%以上とか80%以上、という国や地域がたくさんあるのに…

でも、私たちが「自然エネルギーの電気を使いたい」というメッセージをしっかり伝えていくと、電力会社は少しずつでも自然エネルギーを増やしていくでしょう。

※2014年、大型水力発電を含む数字。

Q₃ 電力自由化になると、全家庭で契約のし直しが必要なの？

A₃ 今のままの電力会社で利用したい場合はそのまま利用し続けることができます。ただし、今の電力会社が新しい電気メニューをおすすめしてくることはあるかもしれません。

Q₄ どんな電力会社とも契約できるの？

A₄ 電力会社はそれぞれ営業する地域を決めていますので、ご自分のお住まいの地域で営業する電力会社の中から契約することになります。

こ ん な こ と を し よ う ！

まずは、自分の電気の使い方を知ろう

- 今契約している電力会社は？
- 毎月の電気代はいくら？
- 電気代の内訳は？
- 毎月どれくらいの量の電気を使っている？
- 前の年と比べて、使用量は増えている？ 減っている？

電力会社を比べてみよう

- どんな電力会社かな？
- どんな点をアピールしているのかな？
- 料金の体系はどうなっているのかな？
- 消費者の疑問にきちんと答えているかな？
- 電源（発電）構成を公開しているかな？

「電源（発電）構成」に注目しよう

- どんな発電方法がどれくらいの割合になっているのかな？
- どこで発電している電気を使っているのかな？
- ホームページなどに公開されていない場合は、電力会社に聞いてみましょう。

たとえその電力会社を選ばないとしても、消費者が電源構成や発電方法について質問することで、「こういう要望があるな」ということが電力会社に伝わります。

自然エネルギーを積極的に増やそうとしている電力会社を応援しよう

- 日本ではまだ自然エネルギーがとても少ないので、すぐに100%自然エネルギーの電気、というのは難しいかもしれません。でも、平均的な値よりも多く自然エネルギーの電気を扱っている会社、自然エネルギーの発電所を積極的に増やそうとしている電力会社は、ぜひ検討の対象にしてみてください。

Q₅ 契約した電力会社が倒産したらどうなるの？

A₅ その地域で一番大きな電力会社（自由化以前からの電力会社）に自動的に契約が切り替わります。その後、他の電力会社に契約を移したければ再度契約を切り替えることができます。

Q₆ 「FIT電気」とはどんな電気なの？

A₆ 自然エネルギーを支えるための制度として、電気の利用者全体で補助を行う「固定価格買取制度（FIT制度）」があります。この制度を利用して発電されている自然エネルギーの電気のことです。

